

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	市民交流プラザ運営管理事業	担当課	児童福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成20年度～
	施策	子育て支援の充実	種別	任意の事務
	基本事業	安心して遊べる場の提供	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-030205-01 補助	根拠法令・条例等	児童福祉法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>昭和62年度に、児童に健全な遊びを提供し、健康の増進と情操を豊かにすることを目的に児童館が開館（久保ヶ丘地内）。その後、児童の健全育成のほか子育て支援拠点として新たな設置要望が高まり、平成15年度に守谷市児童館建設検討委員会が発足し、施設整備について検討を開始。平成20年度に久保ヶ丘地内の児童館を閉館し、児童センター、家庭児童相談室、市民活動支援センター等が入る複合施設として市民交流プラザが開館した（指定管理者制度導入）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方法 指定管理者制度（アクティオ(株)） ・指定管理期間 平成28年度から5箇年 ・児童センター業務 児童に対する集団的・個別的な遊びの指導（季節行事、制作活動等）、体力の増進や情操を育む講座やイベント、地域活動支援（子育てサークル・子ども会等の育成・支援）、異世代交流事業（地域住民及び高齢者との交流や異世代交流団体の支援） ・施設貸出業務 施設の利用許可、利用料金の徴収 ・維持管理業務 施設・設備の日常的維持管理及び保守点検 <p>※児童センターのほか、市が別途運営する施設として、家庭児童相談室（児童福祉課）、ファミリーサポートセンター（地域子育て支援センター）、市民活動支援センター（市民協働推進課）がある。 ※平成28年度実施の建物診断調査結果を基に、計画的に修繕を実施していく。</p>
<p>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</p> <p>0～18歳までの児童とその保護者に対して、児童が安心して遊べる場を提供し、健康の増進と豊かな情操の発達を促し、児童の健全な育成を図る。また、保護者同士の交流の場や子育てに関する情報を提供して子育て支援を行うとともに、地域の高齢者との異世代交流等、地域と連携した行事開催をとおして、地域コミュニティの育成を図る。</p>	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>子どもが、安全に遊び、学び、世代交流できる場を提供する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>・0～12歳までの児童及び保護者に対しては、従来からの方策により認知度向上が図られているが、13～18歳の児童に対しては大幅な来館増に寄与する効果的な方策を実施できておらず、減少傾向が継続している。</p>	<p>〔令和元年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R1. 10月 次年度修繕及び更新備品の希望調査 児童厚生施設の施設間協議 ・R2. 1月 次年度事業計画における中高生取り込み方策について指定管理者に依頼 ・R2. 3月 購入備品の予算化 中高生取り込み方策を聴取 児童厚生施設の施設間協議 <p>〔令和2年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2. 4月～ 指定管理者による中高生取り込み方策の実施 希望備品の購入
<p>改善内容（課題解決に向けた解決策）</p> <p>・各児童厚生施設の指定管理者同士での協議の場を設け、中高生取り込みに対して実践的かつ効果的な方策を検討し、児童厚生施設ならではの価値創出を図る。</p>	

次年度のコストの方向性（→その理由）

<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>事業運営の面ではコスト維持。 ただし令和元年度で現状計画されている改修工事が終了し、次年度は改修工事の予定なしのため、事業経費としては削減となる。</p>
--	--

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
土・日に館外での自主事業を実施，市の行事に参加等により，児童センターに対する認知度を上げることができた。 学校の時間割に合わせたイベントを計画することで，利用者数が増に繋がったが，中高生の利用は停滞している。	近隣の小中学校の協力を得ながら，守谷市小中学校教育研究部会とも情報交換を行い，小中学生の要望に沿う形のイベントを実施することができた。 夕方時間帯に利用している中高生に対し，各種相談にのることにより，子どもの居場所づくりとして機能を果たすよう工夫し，中高生の利用者増につなげた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0～18歳までの施設利用者数（人）	35,088.00	33,791.00	32,141.00	20,000.00	32,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため，3月から利用者の制限を行ったが，2月までの月平均で利用者数を比較すると前年より増加している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため，3密を避けての実施となるため，来年度の利用者数は減少が見込まれるが，継続する感染症予防対策下での生活において，子ども達のストレスや不安が懸念されその対応が求められている。 ・徹底的な消毒の実施，衛生環境の整備等により，事業費負担は増えるが，児童の居場所となる児童館の目的及び効果の達成のため，予約制による利用者の把握，動画配信等の新たな事業展開を検討し事業を維持していく。 			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	174,722	41,021	44,876	43,395	43,395
	国・県支出金	5,576	5,660	5,802	5,802	5,802
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	314	314	314	319	319
	一般財源	168,832	35,047	38,760	37,274	37,274
正職員人工数（時間数）		137.00	131.00	384.00	0.00	0.00
正職員人件費		562	547	1,576	0	0
トータルコスト		175,284	41,568	46,452	43,395	43,395

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	南守谷児童センター運営管理事業	担当課	児童福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成20年度～
	施策	子育て支援の充実	種別	任意的事務
	基本事業	安心して遊べる場の提供	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-030205-02 補助	根拠法令・条例等	児童福祉法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>昭和62年度に、児童に健全な遊びを提供し、健康の増進と情操を豊かにすることを目的に児童館が開館（久保ヶ丘地内）。その後、児童の健全育成のほか子育て支援拠点として新たな設置要望が高まり、平成15年度に守谷市児童館建設検討委員会が発足し、南守谷地区への新設も含めた施設整備について検討を開始。平成20年度に南守谷地区の児童センターとして開館した（指定管理者制度導入）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運営方法 指定管理者制度（(株)こどもの森） 指定管理期間 平成28年度から5箇年 児童センター業務 児童に対する集団的・個別的な遊びの指導（季節行事、制作活動等）、体力の増進や情操を育む講座やイベント、地域活動支援（子育てサークル・子ども会等の育成・支援）、異世代交流事業（地域住民及び高齢者との交流や異世代交流団体の支援） 施設貸出業務 施設の利用許可、利用料金の徴収 維持管理業務 施設・設備の日常的維持管理及び保守点検 <p>※建設後10年が経過し、今後計画的に施設補修を実施していく。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>0～18歳までの児童とその保護者に対して、児童が安心して遊べる場を提供し、健康の増進と豊かな情操の発達を促し、児童の健全な育成を図る。また、保護者同士の交流の場や子育てに関する情報を提供して子育て支援を行うとともに、地域の高齢者との異世代交流等、地域と連携した行事開催をとおして、地域コミュニティの育成を図る。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>子どもが、安全に遊び、学び、世代交流できる場を提供する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 0～12歳までの児童及び保護者に対しては、従来からの方策により認知度向上が図られているが、13～18歳の児童に対しては大幅な来館増に寄与する効果的な方策を実施できておらず、減少傾向が継続している。 設備面に関しては、庇漏水による軒天パネルの浸水、庇側面の塗装剥離等、経年劣化が進んでいる。 	<p>[令和元年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> R1. 10月 次年度修繕及び更新備品の希望調査 児童厚生施設の施設間協議 R2. 1月 次年度修繕等の優先順位及び指定管理者との分担決定 次年度事業計画における中高生取り込み方策について指定管理者に依頼 R2. 3月 修繕及び購入備品の予算化 中高生取り込み方策を聴取 児童厚生施設の施設間協議 <p>[令和2年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> R2. 4月～ 指定管理者による中高生取り込み方策の実施 指定管理者及び市双方による修繕の実施 希望備品の購入
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<ul style="list-style-type: none"> 各児童厚生施設の指定管理者同士での協議の場を設け、中高生取り込みに対して実践的かつ効果的な方策を検討し、児童厚生施設ならではの価値創出を図る。 施設の安全面については、平成30年に実施した建築物定期調査結果を基に、計画的な修繕を継続実施していく。 	

次年度のコストの方向性（→その理由）

<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>施設外観の庇及び軒天の劣化箇所への対応が必要となる。軒天に関しては著しく劣化している箇所もあり、荒天時にパネルの一部が落下する事象も発生したため、利用者の安全安心のためにも次年度中の対応が必要。</p>
--	--

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後10年が経過し、計画的な建物の補修が必要である。 ・ 地域に根差した児童館としてボランティア団体の方に協力をさせていただき事業展開することができた。 ・ 全体的な利用者数は、増加しているが、中高生の利用が停滞している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館の雨漏り修繕及び庇防水工事を行った。 ・ 中高生が利用しやすいように、中高生専用の部屋を用意したり、卓球大会等のイベント等を実施し、中高生の要望に応えた取り組みを行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0～18歳までの施設利用者数（人）	47,292.00	41,029.00	38,229.00	25,000.00	38,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、3月から利用者の制限を行ったが、2月までの月平均で利用者数を比較すると前年より増加している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、3密を避けての実施となるため、来年度の利用者数は減少が見込まれるが、継続する感染症予防対策下での生活において、子ども達のストレスや不安が懸念されその対応が求められている。 ・ 徹底的な消毒の実施、衛生環境の整備等により、事業費負担は増えるが、児童の居場所となる児童館の目的及び効果の達成のため、予約制による利用者の把握、動画配信等の新たな事業展開を検討し事業を維持していく。 			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	38,882	40,493	44,229	47,711	40,722
	国・県支出金	5,576	5,660	5,802	5,802	5,802
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	841	841	841	857	857
	一般財源	32,465	33,992	37,586	41,052	34,063
正職員人工数（時間数）		50.00	88.00	480.00	0.00	0.00
正職員人件費		205	367	1,969	0	0
トータルコスト		39,087	40,860	46,198	47,711	40,722

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	放課後子ども教室事業	担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成19年度～
	施策	子育て支援の充実	種別	法定+任意
	基本事業	安心して遊べる場の提供	市民協働	
予算科目コード	01-100401-23 補助	根拠法令・条例等	社会教育法 守谷市放課後子ども総合プラン実施規則, 守谷市放課後子ども	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>子ども達に関わる重大事件の発生など、青少年の問題行動の深刻化や地域や家庭の教育力の低下等の課題に対応し、心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、地域の方々の協力を得て、平成19年度から学校等を活用するなど計画的に子ども達が安心して安全に活動できる居場所を提供している。</p>	<p>放課後子ども総合プランとして、小学校の校庭・体育館・特別教室等を活用して、遊び、スポーツ・文化等の活動が体験できる場を提供する。</p> <p>運営業務を民間事業者へ委託し、児童クラブと一体型の運営を行い、プランマネージャーを中心に、地域ボランティアを活用して、放課後児童支援員と連携した活動を行う。</p> <p>平成31年度から、利用児童増加に対応するため、守谷小学校・黒内小学校・大野小学校で各1教室ずつ増設する。</p> <p>[運営業務委託] 株式会社アンフィニ [今期委託期間] 平成27年4月1日～令和2年3月31日 5年間</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>子ども達の安心・安全な活動拠点（居場所）を設け、学習活動やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子ども達の社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を育むとともに、地域コミュニティの充実を図る。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>子どもが、安全に遊び、学び、世代交流できる場を提供する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>事業開始から10年以上経過し、活動内容も周知されてきているので、今まで以上に活動内容の充実を図るため、参加児童や保護者の声を反映させていく。</p> <p>学校施設の使用は、使用する教室や時間で管理責任や運営方法を整理する必要がある。</p> <p>放課後子ども総合プランとして、運営業務委託者のモニタリングを定期的に行い、運営に関する質の向上を促進させる必要がある。また、第三者評価の実施を検討する。</p>	<p>2月 アンケート配布</p> <p>3月 アンケート回収 (次年度)</p> <p>4月 放課後子ども教室開始（希望者2～6年生） アンケート集計</p> <p>5月 効果後子ども教室開始（希望者1年生） アンケート結果をもとに運営業務委託者と活動内容について協議（活動内容によっては今年度から実施）</p> <p>6月 放課後子ども教室体験日実施（希望者1～6年生）</p> <p>通年 運営業務委託のモニタリング、第三者評価の検討</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>活動内容の充実を図るため、参加児童及び保護者に対して、引き続き、アンケート調査を実施する。</p> <p>また、活動の様子を保護者に見てもらう機会として、親子で参加する活動を取り入れる。</p> <p>第三者評価の実施に向けて、既存の内部評価シートの見直しをする。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<p><input checked="" type="checkbox"/> 増加</p> <p><input type="checkbox"/> 維持</p> <p><input type="checkbox"/> 削減</p>	<p>令和2年度から子ども教室の支援数を3支援増やす予定のため、支援員増員等に伴う委託料が増額になる。</p> <p>運営業務委託モニタリング及び第三者評価の検討を行うため、調査研究にかかる費用（アドバイザー謝金等）が増額になる。</p>

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
放課後子ども教室の周知が進み、在校生の30%が放課後子ども総合プランに登録するようになったため、平成30年度から無料日を廃止している。 全日が有料日になったことから、活動内容の充実を図るために利用児童へアンケートを実施している。	地域の方々や各種サークル・団体等の協力を得て、さまざまな遊びや学習、体験活動を行った。 参加児童にアンケート調査を行い、意見や要望を運営委託事業者と共有し、活動プログラム設計時に生かすよう指示した。 年2回の体験日を設けて子ども達に参加する機会を提供するとともに、学校との連携・調整により、学校内の施設（体育館・特別教室等）を活用して安全に活動することができた。 3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校が臨時休業となったため、開催を中止した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
子ども教室開設数（教室）	9.00	9.00	12.00	15.00	15.00
子ども教室参加児童数（人/年）	31,097.00	31,500.00	47,799.00	33,000.00	33,000.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	平成30年度から無料日を廃止したため、参加児童が一時的に減少したが、令和元年度は登録児童数が増加した。 参加児童を対象に行ったアンケート調査によると、約90%が「楽しい」、「まあまあ楽しい」と回答しており、子ども達の意見や希望を反映した活動を取り入れた成果が見える。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	低学年児童の参加が多いため、高学年が授業をしている5・6時間目の活動場所の確保が難しくなっている。特別教室等学校内の施設活用した安定による活動の継続や、施設の施錠等セキュリティ対策など学校との綿密な連携・協力体制が重要になる。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	56,170	57,589	49,460	63,002	63,002
	国・県支出金	12,834	10,780	10,354	15,809	15,809
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	4,952	6,640	7,833	8,959	8,959
	一般財源	38,384	40,169	31,273	38,234	38,234
正職員人工数（時間数）		728.00	695.00	184.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,985	2,902	755	0	0
トータルコスト		59,155	60,491	50,215	63,002	63,002